

令和4年度 第1回川崎市社会教育委員会議 教育文化会館専門部会摘録

開催日時：令和4年6月17日(金)

13時30分～15時45分

開催場所：教育文化会館 第4・5会議室

出席者：〈委員〉山澤委員（部会長）、村社委員（副部会長）、永野委員、権守委員、石井委員、野口委員、杉山委員

出席者：〈事務局〉宮舘館長、北村分館長、小島分館長、石田課長補佐、関口課長補佐、小宮担当係長、高橋主任（記録）

〈生涯学習推進課〉柿森担当課長、豊本担当係長

欠席者：〈委員〉箕輪委員

傍聴者：1名

1 開会

2 事務連絡

傍聴1名。欠席の委員1名。8名中7名の出席で過半数の出席があるため、本日の教育文化会館専門部会は成立。川崎市社会教育委員会議規則第6条第6項による。配布資料の確認。

3 委嘱状交付

4 館長あいさつ

5 委員自己紹介

6 職員紹介

7 お知らせ（教育委員会事務局より）

生涯学習推進課 柿森担当課長より「今後の市民館・図書館のあり方(案)」、「(仮称)川崎市民館・労働会館 管理運営計画(案)」について説明。

村社委員) 施設利用申し込みに変更はあるか。

柿森担当課長) 今までと同じである。

野口委員) 今は中2階に社会教育振興係の事務室があり事務局としてイベント等の連

絡先としている。指定管理になると市の職員はいなくなるのか。

柿森担当課長) 基本は施設内の事務室には指定管理者のみである。生涯学習支援課の職員の席は区役所内になるが、必要に応じて労働会館に行くことになると思う。

野口委員) 今の事務室のような感じになるのか。

柿森担当課長) 詳細はこれからだが、基本指定管理者の席を置くことを考えている。ただし、生涯学習支援課職員も来ることが想定されるので設けることも必要だと思う。

野口委員) 職員には会議等に委員として出席してもらっている。場所が変わると行き来が大変である。

柿森担当課長) 距離は遠くなるが、頻繁に行き来をして連携できるような体制づくりをしたい。

村社委員) 施設使用料は教育文化会館の金額になるのか。

柿森担当課長) 教育文化会館と労働会館が一緒になるため、使用料の調整が必要である。施設使用料は条例で決められているが、他都市も参考に利用しやすい形で考えたい。その他個別に質問があれば生涯学習推進課に問い合わせさせていただきたい。併せてパブリックコメントも募集しているので、意見があればお願いしたい。

8 部会長・副部会長の選出

部会長は、山澤委員 副部会長は、村社委員に決定。

9 議事

- (1) 教育文化会館、大師分館、田島分館の社会教育振興事業について
関口課長補佐、北村分館長、小島分館長より説明。

大師分館資料修正

- ・P7 家庭・地域教育学級の対象年齢の「未就学前」→「就学前」
- ・P9 伝統文化親子教室の現状の課題の「粗銅団体」→「書道団体」

村社委員) 大師分館で実施したシニア社会参加支援事業のスマホ教室で参加が多かった年代と性別について伺いたい。

北村分館長) 50代・60代が中心で男性が多かった。

山澤部会長) 希望を言えば70代以上に参加して欲しい内容である。

北村分館長) 概ね50代以上なので希望があれば参加可能である。

村社委員) 対象年齢を60代以上にあげてもらえると参加しやすいと考える。

山澤部会長) 参加対象年齢が50歳からであると70代の人で遠慮してしまうのでは。とても良い企画内容なので、シニアの年齢設定とそれに合った宣伝方法を検討してはどうか。

村社委員) 50代では働いている人が多いと思う。平日の実施の場合、参加対象年齢を定年後の60代以上からに設定した方が参加しやすいのではないかと考え

る。

永野委員) スマートフォンの操作については中学生・高校生が得意である。生徒達が役立つ場面もあるかと思うので、協力できる部分は協力したい。

山澤部会長) 高齢者の元気で長生きをするためには若者との交流が大切であるという意見も聞く。お互いの勉強になり良いことである。

(2) 研究テーマについての意見交換

研究テーマの趣旨について「令和2・3年度川崎市社会教育委員会議 教育文化会館専門部会研究報告書」から宮館館長より説明。

「施設を有効活用した居心地の良いフリースペースの設置」をテーマに話し合いを重ね、昨年度1階イベントホール前のスペースを利用した「キョウブンカフェ」を実施し検証しようとしたが、新型コロナウイルス感染症対策のため実施には至らなかった。報告書は、委員の皆様から頂いた多く意見をもとにまとめることが出来た。その意見を活かしつつ、今年も引き続き同じテーマで協議し実践・検証したいと考える。

山澤部会長) 今年度も同じテーマで実践ということだが、委員の意見を伺いたい。

委員一同) 昨年度と同じテーマでの実施に合意

山澤部会長) それでは前期同様に引き続き同じテーマで検討したい。事務局から今後のスケジュールの説明をお願いしたい。

宮館館長) (今後のスケジュールの説明)

委員の皆さんから色々な意見をいただいたので部会の中で職員と一緒に実施し、検証をしてはどうかと考えている。

2回目：内容の検討

3回目：2回目の意見をもとに「カフェ」（「居心地の良いフリースペース」）を委員と職員で実施

4回目：結果についての意見交換

次年度：前年度実施結果の検証とまとめ

以上を予定しているが、意見をお願いしたい。

杉山委員) 専門部会のメンバーで企画して参加者を募るのか。

宮館館長) 職員も一緒に実施するが、そう考えている。

杉山委員) 現在活動しているところで、モデルとして見学・体験は可能か。

宮館館長) 令和2年2月にプレで「キョウブンカフェ実行委員会」が実施したが、実施団体は現在活動休止中である。

小宮担当係長) 実施団体は高齢であり新型コロナウイルス感染症のため活動を休止しているので見学は難しい。

杉山委員) 9月に内容を決めてその次に実施で、そのように簡単に出来るのか不安である。

山澤部会長) 事務局から前回の様子の説明を受けて、検討すると思われる。

宮館館長) 職員も一緒に実施したい。委員だけで行うものではない。

杉山委員) 委員で実施して、お客も来るのか。

宮館館長) 通常のように広報して、それを見て参加者が来る。具体的な内容は決まっていないが、講師を呼ぶのもあるかもしれないが、場所だけを提供して自由に過ごしてもらった内容もあると思う。

山澤部会長) プレで実施した人で参加できる人がいれば来てもらえるのか。

小宮担当係長) 参加の呼びかけは可能だが、実行委員として参加できるかわからない。

杉山委員) 次回、内容について委員で具体的に決めるのか。

山澤部会長) 委員が負担なくできるように実施したい。実際にやってみると臨場感が分かり色々なアイデアが出てくると思われる。イベント等を企画して講師を呼んでまで実施するものではないと考える。

杉山委員) 広報を行い実施するので責任を感じる。

山澤部会長) 各々の会のメンバーや知り合いを誘い参加してもらえれば負担感が軽くなると思われる。

杉山委員) 時間も限られているので不安である。

宮館館長) 今回、次回で決めなければならないものではない。

山澤部会長) 次回事務局からもう少し具体例の提示があると話を進めやすい。

権守委員) フリースペースは時間調整で利用したことがあるくらいなので、漠然としていてイメージがつかみにくい。

野口委員) 令和2年に見学したが、お茶を飲みつつ雑談を楽しんでいた。1人で来ている人には実行委員が話しかけていた。今は、お茶出しには制約があるかと思う。

宮館館長) お茶は出せないが、ペットボトルの持ち込みは可能である。参考までに資料中に「キョウブンカフェ」の写真があるのでご覧いただきたい。

永野委員) 「カフェ」をやるという話だったので、コーヒーを提供するのかと思った。皆さんもそう感じたのかもしれない。

村社副部会長) 田島分館でも実施しているようなので見学に行けばイメージがつかめると思う。

山澤部会長) 7月1日に見学に行ける人がいればどうか。

小島分館長) 名称は「カフェ」だが、7月1日は講演を聞く回になっている。フリースペースの「カフェ」ではなく、目的をもって事前予約制で実施している。

山澤部会長)「元気健康カフェ」は内容が違うという事なので見学案は取りやめて、次回は委員が実施できるようなアイデアを持ち寄って検討したい。事務局からもベースを示してもらい話し合いたい。

宮舘館長)難しく考えず、立ち寄りやすいスペースのイメージで捉えて欲しい。

関口係長)「カフェ」にもお茶を提供するだけではなく色々ある。居場所を提供するだけの「カフェ」もある。こだわらずに気楽に考えてもらいたい。

小宮担当係長)以前若者会議のメンバーと実施した「くえすとかふえ」は、飲み物が提供できなかったのがカードゲームを実施したが、誰かがいる安心感が大切であると感じた。

山澤部会長)お茶を出さなくても、色々なタイプの「カフェ」がある。報告書の中でも音楽を流したり、植物を置いたり色々な意見が出ているのでそれを実施しても良いのではないかと思う。次回、委員は資料を読み込みそれぞれ意見を持ち寄り、事務局からの具体案をもとに話し合いたい。

(3) 今後のスケジュールについて

宮舘館長)昨年度と同じテーマで継続しての実施をお願いしたい。

10 その他 次回の案内

第2回・・・令和4年9月27日(火) 13時30分～ 第6・7会議室

第3回・・・令和4年12月実施で調整

第4回・・・令和5年2月19日(日) 13時～

※第4回は、市民自主学級・市民自主企画事業の選考会を兼ねている。

11 閉会